

どうのうえこふん
「堂上古墳」

- 指 定 千曲市指定史跡 昭和 62 年 1 月 27 日
- 所 在 地 千曲市大字上山田 1991 番地 2 ほか
- 所 有 者 個人
- 概 要 円墳 指定面積：314 m²、直径 20m・高さ 2.5m
- 時 代 古墳時代（6 世紀）
- 公 開 いつでも可

金比羅山こんびらやま南側に展開する女沢川めざわがわ左岸の台地状の平坦地中央に築造された古墳です。ほぼ原形を保っているものとみられます。直径 20m の円墳で、墳丘には段や葺石ふきいしは認められません。また内部施設については、明らかになっていません。

墳丘全体に赤松の壮木があり、下草として笹が覆っています。裾部から墳丘斜面にかけて墓地となっていて、かつて墳丘の東側には弥勒寺みろくじの堂宇どううがあったとされますが、墳丘は破壊されていません。

古墳時代後期の 6 世紀代には築造されたと推定されます。

